鹿児島県

Vol. 20

奄美パークだより

目　次

P２～３　奄美パーク開園 15 周年記念イベント

P４～５　奄美パーク開園 15 周年記念文化講演会

P６　奄美パーク入館者 200 万人達成記念特集

P７　職員研修（請島・与路島）

P８　奄美の郷・田中一村記念美術館紹介

P９　奄美パーク応援隊

P10　わきゃステージ・年間パスポートのご案内

P11　奄美パーク利用のご案内（観覧料・施設利用料）

祝 ありがっさまりょーた！ おかげさまで 奄美パークは開園１５周年を迎えました！

※平成２８年度は，15 周年を記念してたくさんのイベントが開催されました！！

感じよう！奄美の自然！

奄美パークでは、珍しく夜のイベントを開催

８月に奄美野生生物保護センターと、鹿児島県立奄美少年自然の家の職員を招いて奄美の希少野生生物の生態を学び、また実際に外で星空を観測。自然を肌で感じるイベントとなりました。

バブルサッカー大会

奄美で初開催!?

10月には、多目的広場にて「バブルサッカー大会」を開催。一般の部と子どもの部に分けて行われ、全22チームが参加。巨大なバブルを使用してプレイする、新しいスタイルのサッカーに悪戦苦闘しながらも、楽しんでいる参加者の姿がみられました。

田中一村応援団

田中一村を感じる企画展を開催

常設展の他に、企画展示室にも一村関連資料や作品を展示。

また、オープニングイベントでは、明治学院大学教授の山下裕二さんによる講演会「昭和の若冲、田中一村を応援する」と題し、両者の観察の深さや確かさ、対象の本質を表現する技術の高さについて画像を交えながら解説しました。

企画展の最終日には、当館の学芸員による作品解説なども行われ、いろんな角度から一村を感じることのできる企画展となりました。

奄美を描く美術展

巡回展を東京で！

奄美を描く美術展は節目の15回目を迎え、15回を記念した巡回展を東京・銀座の美術家連盟画廊で開催しました。本展でも展示をした入賞12点、入選（賞候補作品）16点の計28点を展示し、特別出品として歴代審査員の作品も展示。

また、オープン初日にはオープニングレセプションを行い、牧岡奈美さんによる島唄が披露され、奄美らしさで会場が包まれました。

奄美パーク開園15周年記念文化講演会

栄和人監督（奄美市笠利町出身）がメダリスト達と地元奄美へ凱旋！

会場を笑いの渦に巻き込んだ栄監督のトーク。

会場からの質問に笑顔で答えるメダリスト３選手。

3選手のメダル披露に会場は大盛り上がりでした！！

奄美パーク開園15周年記念イベントとして、平成28年11月20日に、日本レスリング協会強化本部長の栄和人氏とリオデジャネイロ五輪銀メダリスト吉田沙保里選手・同金メダリストの登坂絵莉選手・土性沙羅選手をお迎えして、「文化講演会」を開催しました。

あまみエフエムディウェイブの丸田氏が司会進行を務め、まずは栄監督の幼少期から高校時代の生活ぶりなどをユーモアを交えて対談方式でインタビューしました。

栄監督は、小さい頃から相撲に親しんでおり、実家の商売の手伝いで普段から力仕事が多い生活を送っていたため足腰が強くなったことや、自然に格闘技の道へ進んでいったことをお話しいただきました。また、指導者となった現在は、「好かれようとか、嫌われたくないとか、物わかりのいい指導者でありたいとか、良い信頼関係を持ちたいとか、そんな綺麗事は今まで考えたことはない。ただ、その子のためになるのであれば自分をとことん犠牲にする。」と熱く語ってくれました。

その後、吉田選手・登坂選手・土性選手の３選手が入場すると、多くの観客で埋め尽くされた会場は大歓声に包まれ、大きな拍手が会場いっぱいに広がりました。３選手を交えた栄監督とのトークショーでは、３選手が栄監督について、練習や私生活でのエピソードをユーモラスに話してくれました。また監督が、奄美の方言を交えて３選手へ語りかける場面があり、会場から大きな笑いが起こっていました。

４年後の東京五輪については、登坂選手と土性選手が２大会連覇・金メダルを取ることを誓い、吉田選手は、「この後輩達と一緒に練習に励みながら調整したい。リオ五輪は銀メダルで終わってしまったので、金メダルをぜひ勝ち取って選手人生を終えれば最高ですね。」と力強く語ってくれました。栄監督も、「今まで以上に若手の育成に力を入れ、全階級において選手達に金メダルを取らせることが目標」と４年後に向けて力強く語ってくれました。

今回の講演会には、栄監督の地元奄美市笠利町から赤木名レスリング教室、徳之島からは徳之島レスリング教室の生徒のみなさんもかけつけ、監督や選手達の話に真剣に耳を傾けていました。質問コーナーでは、来場者から「彼氏はいるの？」、「栄監督をどのように思っていますか？」などたくさんの質問があり、会場は終始賑やかな雰囲気に包まれていました。

最後に、３選手がそれぞれに金や銀のメダルを披露すると、会場から再び大きな歓声と拍手が湧き上がりました。

奄美パーク入館者200万人達成記念特集

奄美パークが平成13年9月30日に開園して、15年が経ちました。平成13年12月22日に来園者が10万人を突破し、それから約1年10か月後の平成15年9月15日に50万人を突破しました。その後、平成19年1月3日に、開園から約5年3か月で、100万人の大台を達成しました。そして100万人達成から約9年後の昨年平成28年1月24日に、開園から14年4か月かけて来園者200万人を達成しました。めでたく200万人目の来園者となったのは、大阪から観光で来園された狩集広洋さんと、奥さまの洋子さん、1歳の長男一亀ちゃんご家族でした。この日、狩集さんご家族は、知人の紹介で奄美パークを訪れたそうです。広洋さんは、「奄美に来るのは8年ぶりで、妻と子供は初めての奄美です。200万人目と聞いて本当にびっくりしています。奄美は若い人がオシャレで、音楽やアートであふれている素晴らしい場所。次は泳げる夏にまた来ます。」と笑顔で話されました。

また、200万人達成を記念し、翌月の2月21日に「ありがっさま200万人達成記念ライブ」を開催しました。イベントは、平久美さん、福山幸司さんによる祝い唄で始まり、楠田莉子さん、森永あすかさんの島唄や、地元笠利町節田小学校アマンディー太鼓、安大智さんのキーボード演奏による昭和歌謡曲などの独奏や、B→Matonds☆DanceStudioのヒップホップダンスで、記念イベントに訪れたたくさんの来場者を盛り上げてくれました。

平久美さん・福山幸司さん

200 万人目来園の狩集さまご家族

安大智さん

B→Matonds☆Dance Studio

節田小学校児童

築地俊造さん

楠田莉子さん・森永あすかさん

節田小学校ＯＢ

職員研修
～与路島・請島～

2月1日、奄美パークの職員研修で「与路島」「請島」に行ってきました。2島は、奄美大島と海峡を挟んだ加計呂麻島のさらに南に位置し、瀬戸内町古仁屋港から定期船「せとなみ」で与路島まで50分、請島まではさらに20分の距離にあります。今回は日帰りの為、海上タクシーをチャーターして巡りました。

最初に到着した与路島は、与路集落に53世帯81人が住む周囲約18キロメートルの島です。集落内には珊瑚の石垣がめぐり、趣のある雰囲気です。この石垣は、戦争の際に多くが消失されましたが、その後修復され国土交通省が選定した「島の宝100景」に選ばれました。また、集落の外れには樹齢100年を越すサガリバナの並木道があり、夏になると美しい花が一斉に咲き一面真っ白のカーテンをかけたようになるそうです。集落の散策中には、郵便局員さんから気軽に声をかけていただいたり、商店の方と世間話をしたりと楽しく過ごすことができました。

与路島の港を出発し、次に向かったのは請島の池地港です。請島は、請阿室と池地の2つの集落からなり、併せて65世帯91人が住む島です。「ウケジママルバネクワガタ」や「ウケユリ」などの絶滅危惧種が生息し、密漁や盗掘から守るための取り組みが行われています。また、休校していた島で唯一の小学校「池地小学校」が、平成29年4月に生徒2人を迎えて3年ぶりに再開することになり、子ども達の声が久しぶりに島に戻ってきます。散策した池地集落には大きなデイゴの木がいくつもあり、人々の生活を見守っているようでした。

今回の研修では、瀬戸内町観光物産協会さんや、各集落の区長さんにご案内いただき大変お世話になりました。奄美大島出身の職員が多い当園でも、この2島を訪れるのは初めてという者が多く、有意義な研修となりました。奄美群島は、各島々で文化や自然など異なる表情を見せ、そのどれもが世界に誇れる素晴らしいものだと考えています。「与路島」「請島」についても、今回学んだことや感じたことを奄美パークに来園されたお客様にご紹介し、奄美群島の魅力をますます発信していきたいと思います。

※↑与路島と請島の間にあるハミャ島（無人島）

奄美の郷

シャコ貝の貝殻をイメージした外観となっており，奄美の美しい自然や歴史，文化を映像や展示などで楽しく紹介するとともに，人々の交流の場になっています。

奄美の郷には，総合展示ホールや奄美シアター，遊びの庭，アイランドインフォメーション，イベント広場，レストラン，売店があります。

●総合展示ホール

奄美の自然と暮らしの様子を実物大模型や映像，写真で分かりやすく紹介します。奄美の文化や歴史を「海の道」「シマ（集落）の道」，「森の道」と大きく３つに分けてあり，それぞれの場所をめぐりながら奄美の魅力を体験できるコーナーとなっています。

●遊びの庭

奄美大島南部，瀬戸内町にあった家屋を移築復元した昔の民家で，奄美の「伝説や昔話」を音声で紹介するとともに，大島紬の機織などを紹介しています。

●イベント広場

奄美の島唄や踊りなどが常時大型スクリーン映像で流れるとともに様々なイベントの舞台会場になります。

●奄美シアター

奄美の美しい自然などを描いた「亜熱帯の輝き～奄美の海と森の物語～」をハイビジョン映像で約２０分間上映します。

●アイランドインフォメーション

個性的な奄美の島々の美しい自然などを映像や写真で紹介しており，各市町村や群島内施設の最新情報なども設置しています。

また，各島々の特産品の展示も行っています。

田中一村記念美術館

高倉をイメージした三連の建物で，奄美に移住し，奄美の自然を描き続け，研ぎ澄まされた観察力と卓越した表現力で独自の画業を集大成させた田中一村の作品が時代を追って鑑賞できます。

●図書資料室

美術・芸術関係の書籍や，ビデオコーナーがあり，「黒潮の画譜異端の画家田中一村」のビデオも見れます。

●常設展示室

田中一村の作品を「幼少期から千葉時代」「千葉時代から奄美まで」「奄美時代の代表作」の３期に分けて鑑賞できるとともに，作品を通じて奄美の自然の奥深さも感じられます。年に 4 回約 80 数点の作品を入れ替える展示替えを行っています。

●企画展示室

色々な企画展，絵画教室なども開催されます。

●特別展示室

一村生誕１００年の年に増築されました。屏風や襖絵，天井画など，大きな作品を展示しています。

奄美パーク応援隊

奄美パーク応援隊は，地域の方々によるボランティアグループとして平成１５年から活動しています。それぞれの得意分野を生かし，奄美の魅力を島内外の方々に伝えたり，園内の美化活動等に取り組んでいます。

活動内容

展示案内

来園者に対して，奄美の歴史や文化，自然，島の暮らし，観光ポイントなどを紹介する。また，田中一村記念美術館における鑑賞のポイントを紹介します。

手熟の披露

来園者に対して，機織り，三味線，ソテツ編みなど，島に伝わる遊びやモノ作りを実演を交えて披露し，島の紹介をします。六調三線グループは，平成２３年度から練習を始め，毎月第２，４の月曜日に練習をしています。六調によるお客様のお見送りは好評で，一緒になって踊るお客様もいらっしゃいます。

園芸活動

園地の環境を考慮しながら，植栽による情景展示活動を行います。基本的に作業日は月１回程度。平成２８年度は主に２F レストランから見える花壇に力を入れました。
花が一面に咲くと記念撮影を行うお客様も多いので，やりがいのある作業です。

美術館活動

田中一村記念美術館の企画・展示業務のサポートをします。美術作品の取り扱いになるため，慎重な作業や美術品取扱いに対する知識が求められます。

その他活動

奄美パークが企画したイベントや業務等への参加，園内の清掃活動を行います。平成２８年度は清掃活動を２回実施しました。

隊員募集中！

隊員を随時募集しております！
皆さんが持っている能力をぜひ，奄美パークで生かしてみませんか？

＜応募資格＞

■奄美パークまで各自で来園可能な成人の方。
■奄美の自然，文化，または美術に興味のある方。
■年２回以上活動に参加出来る方。

＜問い合わせ＞

奄美パーク事業課
TEL：0997-55-2333

★わきゃステージ in パークのご案内

個人や団体の成果発表の場，または各自のパフォーマンスの披露の場として奄美パークのステージを無料で提供する事業です。ぜひご活用下さい！

なお，出演者の過半数が奄美群島内に在住する場合に限り事業の対象となります。

詳しくは奄美パークホームページ内
（http://www.amamipark.com/shinsei/shinsei.html）
利用申請・届出書の項目から実施要項などをご確認ください。

☆平成２８年度のわきゃステージの様子をご紹介いたします♪

島んちゅ会

あやまる会

奄美太鼓連盟

奄美共生園、共生園・のごろ

★年間パスポートのご案内

★２回分の観覧料で、**1年間に何回でも**ご利用できるお得なパスポートです！

対　　象	小学生以上の共通観覧券	
料　　金	大人	1，240円
	高校生・大学生	820円
	小学生・中学生	620円
※有効期間	購入日より1年間	

【パスポートの発行について】

・奄美の郷受付にて申込書に必要事項をご記入のうえ，料金をお支払下さい。１０分程度でパスポートを作成しお渡しいたします。

・パスポートを申し込まれた方には，奄美パークグッズを，また，有効期間中６回訪れた方には，一村グッズをプレゼントします。

・奄美パークイベントカレンダーをお届けします。（年４回）

★開園時間★ ９：００～１８：００（７・８月は９：００～１９：００）
★休 園 日★ 毎月第１・第３水曜日（祝日の場合は翌日）
ただし、ＧＷ期間中、７月２１日～８月３１日・１２月３０日～１月３日は開園

★奄美パーク利用のご案内★

★奄美パーク施設観覧料（お一人様）のご案内★（単位：円）

〈　〉内は団体（20名様以上）料金です。

区分	共通観覧料	奄美の郷	田中一村記念美術館
大　人	620〈490〉	310〈240〉	510〈400〉
高校生 大学生	410〈320〉	210〈160〉	360〈280〉
小学生 中学生	310〈240〉	150〈120〉	250〈200〉
幼　児 （小学生未満）	無料	無料	無料

※奄美の郷の総合展示ホール及び奄美シアター以外は無料で観覧いただけます。
※田中一村記念美術館は、常設展示室及び特別展示室は有料です。
※企画展など、特別プログラム料金については別に定めます。
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、
　及び付添いの方は減免措置がありますのでお申し出下さい。

★観覧においては、２０名様以上はお得な団体割引がございます。施設の遠足などにご利用下さい。

★奄美パーク施設の利用料金のご案内★

利用可能な施設及び設備		利用料金	施設概要（座席数・面積等）	利用例
奄美の郷（屋内）	奄美シアター	1時間までごとにつき　1020円	82席	研修等
	レクチャールーム	1時間までごとにつき　410円	椅子のみ約60席 机を入れると約30席	会議，研修，雨天時の昼食会場 イベント広場使用時の控室等
	イベント広場	1時間までごとにつき　490円	観客席約170席	イベント・発表会 講演会等
田中一村記念美術館	企画展示室	1日につき　8，230円	11m×14m　天井の高さ3m 可動壁面（裏表使用可），展示ケースあり	グループ展等
	ガイダンス室	1時間までごとにつき　290円	28席	研修等
多目的広場（屋外）	入場料を徴収しない場合	1時間までごとにつき　250円	3780㎡ （グラウンドゴルフ標準コースの8ホールのセットが可能）	グラウンドゴルフ大会 ソフトボール大会
	入場料を徴収する場合	1時間までごとにつき　410円		
映写機，録音機等の機械		1回につき一式640円	音響機材一式，デジタルピアノ オーバーヘッドプロジェクター スライドプロジェクター ビジュアルプレゼンター データプロジェクター	パーク内における イベント・発表会 講演会等

★遊具貸出しのお知らせ★

奄美パークでは屋外の多目的広場を有効活用していただくために，無料で遊具の貸し出しを行っています。遊具の種類はグラウンドゴルフセット，サッカーボール，ソフトバレーボール，バドミントン，フラフープ，ストライクナイン，ブーメランなどです。

他にも，リングを何投でゴールに投げ入れれるをか競うスカイクロスや，小学生に人気のステップスキップもあります。

また，多目的広場を１時間 250 円（入場料を徴収しない場合）で全面貸し切って利用することもできます。

約 200 台駐車できる駐車場もありますので，子供会のレクリエ - ション大会や老人クラブのイベントなどにもぜひご活用下さい。

894-0504 奄美市笠利町節田 1834

奄美パーク

開園時間　９：００～１８：００
（７・８月は１９：００まで）

休園日　毎月第１・３水曜日（祝日の場合は翌日）
（4/29 ～ 5/5，7/21 ～ 8/31，12/30 ～ 1/3 は開園）

鹿児島県　■奄美の郷　（TEL）0997-55-2333　（FAX）0997-55-2612
■田中一村記念美術館（TEL）0997-55-2635　（FAX）0997-55-2613